

## 薬科学専攻修士課程

	1年	2年	修 士 論 文
DP2:技能・表現	①「基礎薬科学」に関する研究を行うための技能を有し、新たな展開を図ることができる。 ②「応用薬科学」に関する研究を行うための技能を有し、新たな展開を図ることができる。	研究指導 I ~ IV	
DP3:思考・判断	①「基礎薬科学」あるいは「応用薬科学」分野の新たな問題・課題を見出すことができる。 ②「基礎薬科学」あるいは「応用薬科学」分野の新たな問題・課題の解決への方策を提示できる。	薬科学論文作成実験 I → 薬科学論文作成実験 II	
DP4:態度・志向性	①医薬品の創製、医薬品の開発、医薬品の適正使用、化粧品、健康食品の開発に関する専門的な教育・研究を行うことを志向する。 ②製薬・化学・化粧品・食品産業、環境衛生・試験研究機関、理科教員として活躍することを志向する。	薬科学特別演習 I → 薬科学特別演習 II	
DP1:知識・理解	①医薬品の創製のための有機化学、物理化学、分析化学、生命科学、薬理学、薬剤学、衛生・環境化学などの「基礎薬科学」に関する専門的な知識を有し、体系的に理解している。 ②医薬品の開発のための医薬品の有効性・安全性評価、有用性評価、製剤化、治験、化粧品、健康食品などの「応用薬科学」に関する専門的な知識を有し、体系的に理解している。	①基礎薬科学 有機化学特論 薬用資源学特論 物理化学特論 分子生物学特論 薬剤・製剤学特論  ②応用薬科学 健康予防栄養学特論 ゲノム医療・精密医療学特論 治験・臨床開発特論 データサイエンス特論  ③薬科学英語演習	
DP3:思考・判断		有機合成特論 生体分子解析学特論 細胞生物学特論 薬理学特論 衛生・環境学特論  サプリメント特論 レギュラトリーサイエンス特論 化粧品科学特論	